



憲法9条改憲に反対する署名への協力を呼びかける田村智子委員長  
(左)と小池晃書記局長=18日、新宿駅東南口(写真は「しんぶん赤旗」提供)

4月19日、国会前に3万6000人が集った「19日行動」に  
戦争反対、憲法守れと声を上げる人たち(写真は「しんぶん赤旗」提供)

18日、東京・JR新宿駅東南口前で、憲法9条改憲に反対する緊急街頭署名宣伝に取り組みました。田村智子委員長と小池晃書記局長が「『戦争反対』の思いを、憲法9条を守れという署名に託してください」などと訴え、党本部の勤務員とともに市民と対話し、署名への協力を呼びかけました。

## 憲法を守るべき政権与党が改憲を煽り 戦争できる国づくりを進める事は断じて許されない

田村氏は、アメリカとイスラエルによるイランへの軍事攻撃について、「もはや遠い国の出来事ではすまされない。私たちの暮らしが脅かされている」と指摘。アメリカが日本に対し自衛隊派遣への圧力をかけるなか、「無法な戦争への協力を退ける最大の力になっているのが憲法9条だ」「高市政権や自民党、日本維新の会が、憲法9条を変えて、戦争する国づくりを進めようとしている」と強調しました。

憲法とはそもそも、国民が政府に平和や人権を守らせるためにあると指摘し、改憲を求める国民世論は起きていないのに、政権・与党が改憲の世論をかきたてること自体、許されないと批判。国会前や全国各地で多くの市民が改憲反対の宣伝行動を繰り返していることを示し、「もっと多くの、憲法9条守れとの圧倒的な世論を巻き起こしたい」と決意を語りました。

## 憲法9条改憲は、自衛隊の歴史を根本から変える

小池氏は、▽武装した自衛隊を海外に送る▽集団的自衛権の全面行使▽武力行使の目的での国連軍への参加—という憲法のもとではできない3つの企てが、改憲で憲法に自衛隊が明記されたら可能になると指摘。「戦後、一人の戦死者も出さず一人の命も殺さない自衛隊の歴史を根本から変えてしまう」と警鐘を鳴らし、憲法9条を守る必要性を説きました。

### 「憲法9条改憲に反対する請願署名」にご協力を!

現在全国で取り組まれている「憲法9条改憲に反対する請願署名」は、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」「改憲問題対策法律家6団体連絡会」「9条改憲NO!全国市民アクション」「九条の会」「憲法9条を壊すな!実行委員会」「戦争する国づくりストップ!憲法守り・いかす共同センター」などが連名で呼びかけているものです。記入された署名用紙は、記載されている連絡先住所、もしくは最寄りの日本共産党の事務所へお寄せください。

署名用紙はコチラからPDFです



## 戦争反対、憲法守れの声に連帯 改憲ストップへ全力



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590  
2026年4月号外 日本共産党の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可

日本共産党 参議院議員 **山添 拓**

